

「令和4年度も西伊興小学校は子供ファースト」

令和4年度がスタートしました。昨年度末の2月から3月にかけて新型コロナウイルスの第6波となり、西伊興小学校の児童や教職員も多数感染することとなりました。学年閉鎖や学級閉鎖で感染拡大防止に努めましたが、もうしばらく緊急対応は必要になるかもしれません。今年度も保護者や地域の皆様の多大なるご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

しかし、おとしより昨年、昨年より今年と、学習活動は確実に充実してきています。いざとなればハイブリッド授業を行い、絶対に学びを止めないようにします。願わくば、もう少し異学年交流や全校交流を増やしたいです。やはり、対面に勝る学びはありません。特に小学生は直接人と触れ合うことで多くのことを学びます。緊急対応が何度となくあったとしても、対面による学びを常に意識しながら学校教育を行ってまいります。

様々な取り組みの中で、次の3点について、挨拶として述べさせていただきます。

① 主体的で対話的な深い学び合い

A I時代の到来で今後人間に求められる必要な能力が大きく変化してきています。計算等の事務処理や膨大な量の統計等は、人間よりもパソコンが速く正確にやってくれます。しかし、A Iは、人が抱く気持ちや考えを分析することができません。また、未知のことに対して新たなものを創造する力也没有ありません。だからこそ、これからの世界を生き抜いていくための力を育成していかなければなりません。思考力や表現力を伸ばすためにも、主体的で対話的な深い学び合いを継続していきます。

② 相手の気持ちを考えた言動

どんなにA Iが発達しても、人と人との絆を深めたり、助け合ったり、協力し合ったりできるのが人間です。人は、自分の考えを言葉で表したり行動で示したりする力をもっています。その宝ともいえる力をもっともっと伸ばしていきます。

③ 病気に負けない元気な身体づくり

そもそも身体が元気でないとう、登校して学習することができません。登校できても身体にエネルギーが無くと学習活動を行えません。コロナ禍で学んだ感染予防を活かしながら、たくさん運動して体力を向上させます。体力向上は、やる気を引き起こす大きな要因となります。昔からよく言われている「よく遊び、よく学べ」を実践していきます。